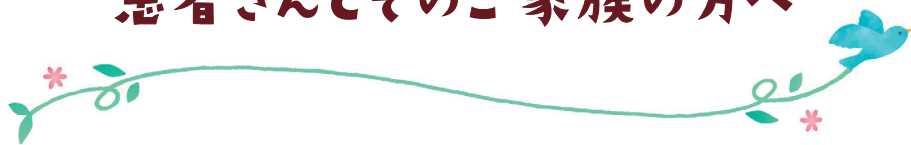




カログラ[®]錠を服用される 患者さんとそのご家族の方へ



監修：東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科 教授

松岡克善 先生



目次



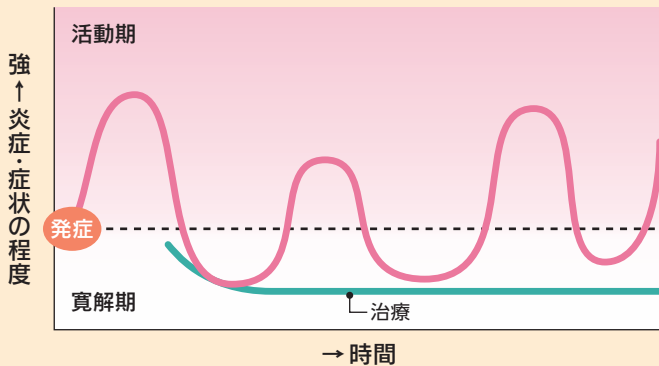
はじめに	3
カログラ錠とは	4
治療前に確認しておくこと	6
カログラ錠の服用方法	8
カログラ錠による副作用	9
日常生活に関して	11



はじめに

潰瘍性大腸炎は、炎症による症状がある「活動期」と、治療により症状が落ち着いた「寛解期」を繰り返す病気です。活動期には適切な治療によって早期に寛解を目指し、その後はできるだけ長く寛解を維持することが大切です。カログラ錠は中等症の活動期潰瘍性大腸炎の患者さんが服用し、患者さんを寛解状態へ導くためのお薬です。

経過のイメージ



この小冊子では、カログラ錠を服用する患者さんとそのご家族の方に、お薬の服用方法や副作用、日常生活で注意することについて解説しています。

わからないことや心配なこと、さらに詳しく知りたいことがありましたら、医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

カログラ錠とは

カログラ錠とは

カログラ錠は、5-アミノサリチル酸(5-ASA)製剤を服用しても十分な効果が得られなかったり、5-ASA製剤の副作用で治療が続けられなくなったりした中等症の活動期潰瘍性大腸炎の方に飲んでいただくお薬です。

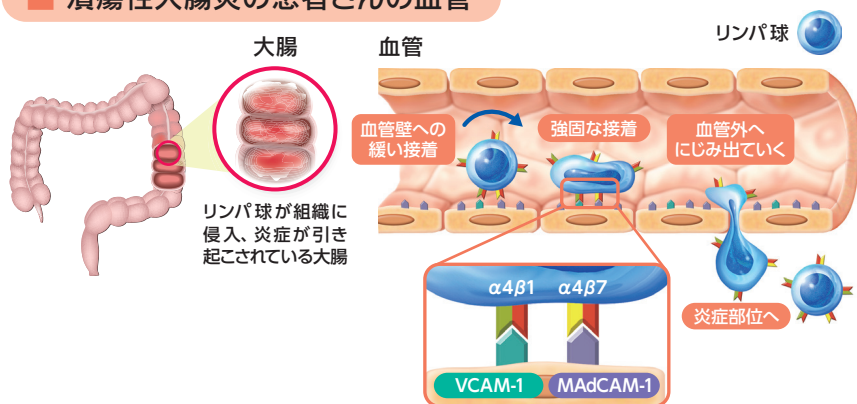


カログラ錠とは

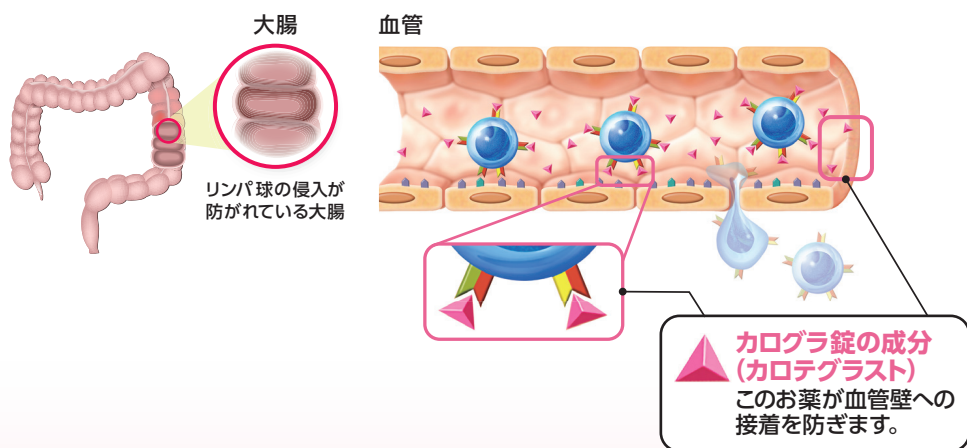
カログラ錠の作用

潰瘍性大腸炎の患者さんの大腸では、血液中からリンパ球が集まることで炎症が引き起こされ症状がひどくなることが知られています。カログラ錠は、リンパ球が大腸の炎症部位に集まることを抑え、活動期の潰瘍性大腸炎の症状を改善させます。

潰瘍性大腸炎の患者さんの血管



カログラ錠服用後の血管



治療前に確認しておくこと

以下に当てはまる方は、カログラ錠の服用にあたり注意が必要ですので、担当の医師にご相談ください。

カログラ錠の治療を受けることができない方

- カログラ錠の成分に対し、過敏症の既往歴がある方
- 妊婦または妊娠している可能性がある女性
動物を用いた試験において、マウスへ経口投与したときに、催奇形性*が認められました。妊娠中にカログラ錠を服用した場合、胎児に影響がある可能性を否定できません。カログラ錠の服用期間中および服用終了後の3日間以上は避妊を徹底してください。服用期間中に妊娠が確認された場合には、直ちに服用を中止し、担当の医師に連絡してください。

※妊娠中の女性が薬を服用したときに胎児に奇形が起こる危険性

- 重度の肝機能障害のある方



カログラ錠の服用にあたり注意が必要な方

以下に当てはまる方は、カログラ錠を服用する前に担当の医師にご相談ください。

- 肝機能が低下している方
- 胆道閉塞のある方
- 免疫不全の方/
免疫抑制薬を使用されている方
- 授乳中の女性
- 小児の方
- 高齢の方
- 過去にナタリズマブを投与された方
- 現在、他のお薬を服用している方



カログラ錠との併用に注意が必要なお薬

- 併用するお薬の作用が強くなる可能性のあるお薬
 - ・ミダゾラム(催眠鎮静剤：麻酔薬)
 - ・アトルバスタチン(リピトール等：高コレステロール血症薬)等
- カログラ錠の作用が強くなる可能性のあるお薬
 - ・リファンピシン(肺結核等のお薬)等
- 併用できないお薬
ナタリズマブ(多発性硬化症治療薬)、他の免疫抑制薬
カログラ錠の服用中、服用開始時は、過度の免疫抑制が引き起こされる可能性があり、進行性多巣性白質脳症(PML)*の発症リスクが否定できないので服用を避けてください。

※9ページで詳しく説明しています ▶

カログラ錠の服用方法

カログラ錠の服用方法

通常、1回960mg(8錠)を1日3回食後に服用します。

- お薬をシートから取り出す際、指や手を切らないようにご注意ください。
- 食事をとらない場合は、該当する時刻に服用してください。
例) 朝食をとらない場合でも、朝の服用分は朝食時間に服用してください。
- 飲み忘れた場合は、以下のように対応してください。
 - ・ 決して2回分を一度に飲まないでください。
 - ・ 飲み忘れに気づいた場合には、気がついた時に1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

カログラ錠の服用期間

- カログラ錠と同様の作用メカニズムを持つ抗体薬ナタリズマブを投与された患者さんでは投与期間が長くなると進行性多巣性白質脳症(PML)[※]発症の危険性が増すことが知られています。

※9ページで詳しく説明しています ➡

- カログラ錠はPMLの発症リスクを最小にするため、服用期間が6か月を超えないように、また再治療は少なくとも8週間の休薬期間が必要です。

カログラ錠による副作用

カログラ錠の服用中に、副作用があらわれることがあります。以下は特に注意が必要な副作用ですので、これらの症状があらわれた際は、すぐに担当の医師に連絡してください。

注意が必要な副作用 — 進行性多巣性白質脳症(PML) —

PMLは免疫の働きが極度に低下した時に、多くの人の身体の中に存在しているJCウイルスが脳の中で活性化して、様々な神経症状を起こす病気です。非常にまれな病気ですが、発症すると、注意力の減退、記憶障害、混乱、性格変化、認知症、異常行動、目が見えにくい・視野が狭くなる等の目の症状、また言語障害・運動障害等の神経症状を示します。症状は徐々に進行するので、早い段階で見つけて対応することが重要です。

カログラ錠の臨床試験ではPMLの報告はありませんが、カログラ錠と同様の作用メカニズムを持つ抗体薬ナタリズマブで、PMLの発症が報告されています。カログラ錠服用期間中に、下記のような神経症状があらわれた時には、すぐに担当の医師に連絡してください。

- けいれん
- しゃべりにくい
- 手足のまひ
- 意識の低下、意識の消失
- 物忘れをする

注意が必要な副作用 — 感染症 —

カログラ錠はリンパ球の働きの一部を阻害するため、感染症に対する免疫能に影響を及ぼす可能性があります。

感染症の症状があらわれた場合にはすぐに担当の医師に連絡してください。

カログラ錠による副作用

気になることがありましたら、医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

- 咽頭炎、上気道の炎症
のどの痛み、イガイガ感 等
- 頭痛、発熱
- 悪心、嘔吐
気持ちが悪い、吐き気、
胃のむかつき 等
- 肝機能異常
肝臓の機能が低下する、
肝臓の検査値が増加する 等
- 関節痛



日常生活に関して

カログラ錠を服用中であっても、日常生活を必要以上に制限する必要はありません。

● 予防接種

潰瘍性大腸炎の患者さんへの予防接種は全般的に推奨されています。服用中に予防接種を受ける際は、医師にご相談ください。



カログラ錠による治療を受ける患者さんに向けて、
お役立ち情報を多数掲載しています。ぜひご覧ください。



<https://www.eapharma.co.jp/patient/treatment/carogra>

医療機関名

 **キッセイ薬品工業株式会社**

 **EAファーマ株式会社**